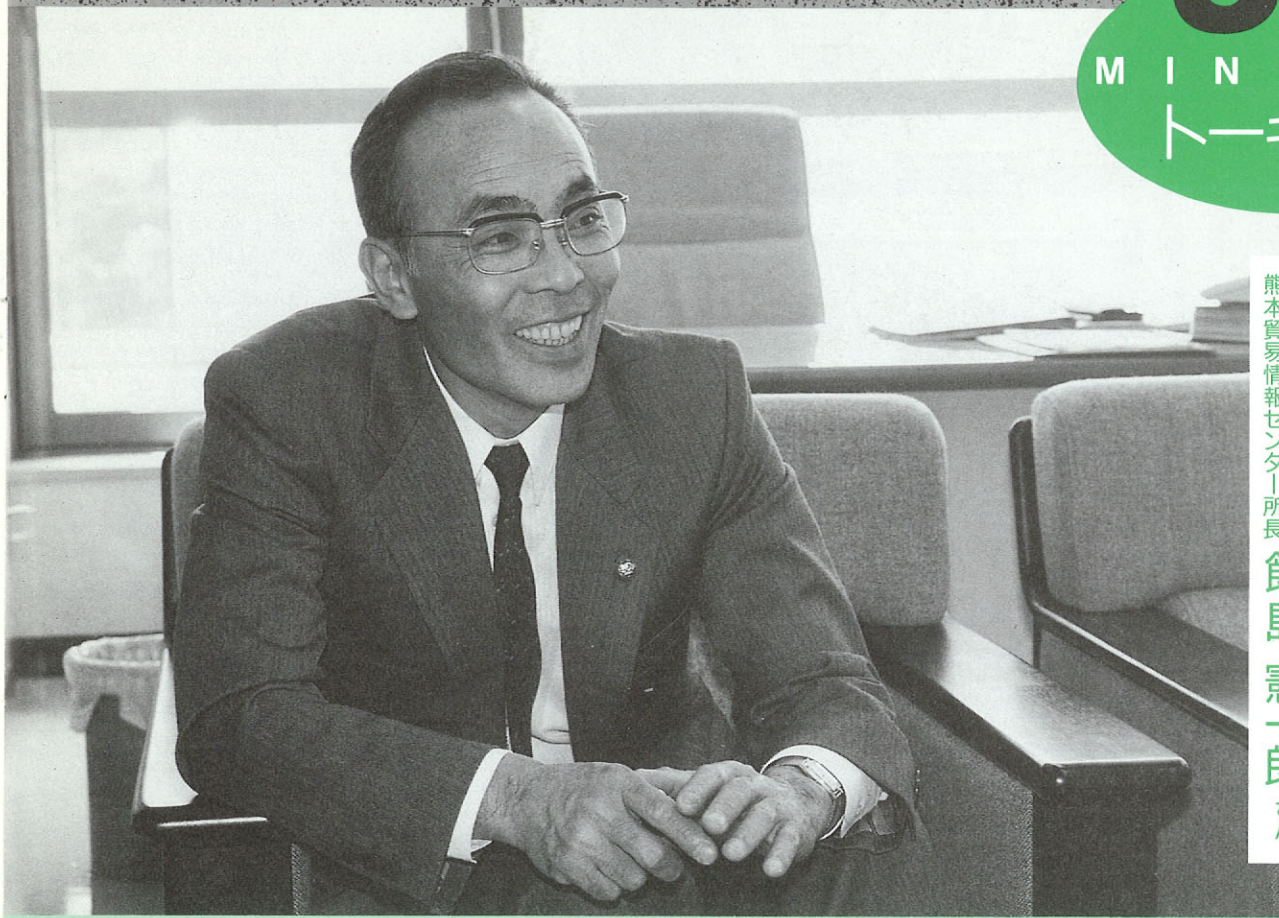


日本貿易振興会
熊本貿易情報センター所長 飯島憲一郎さん



「これからもっと
際人としての認識が
必要になって
くるでしょうね。」

●プロフィール
いじま けんいち ろう
飯島 憲一郎

政府特殊法人 日本貿易振興会(ジェトロ)熊本貿易情報センター所長
熊本E0協会理事 熊本県貿易協会常務理事
昭和40年日本貿易振興会本部に入会。海外事業部勤務を経て、昭和62年10月より熊本貿易情報センター勤務。現在に至る。

世界最大の貿易情報網を持つ日本貿易振興会ジェトロ。その熊本貿易情報センター所長飯島憲一郎さんは、ペルー、エクアドルをはじめとする海外生活の経験豊富な国際人。広い視野をお持ちの氏に、国際化という視点での熊本を語って頂きました。



エクアドル太平洋沿岸部のコロラド族の村を訪ねて

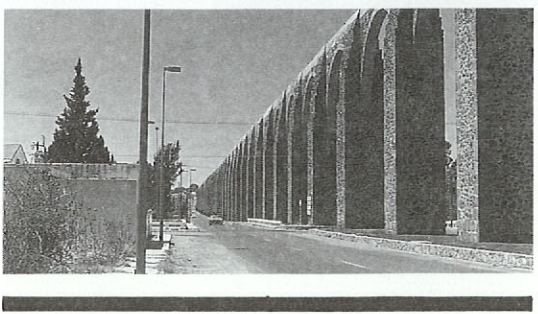
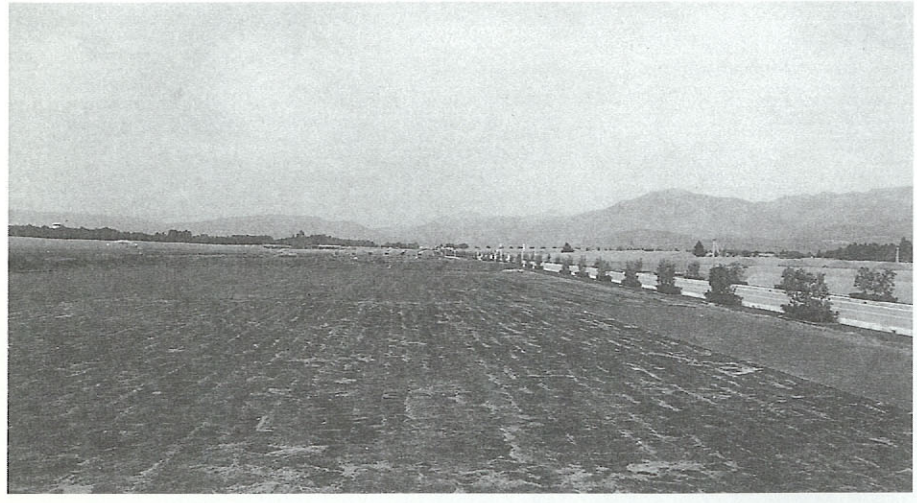
まず、熊本の印象からお聞かせ下さい。本日に、自然に恵まれた所だなと思いますね。山、海、川とバラエティに富んでいて、これまで見てきた多種多様な国の風景が凝縮されているんです。外国からのお客様にもよく言われるんですが、初めて見る風景だとは思えない

い、懐しい感じがすると。風景の中に人を受け入れる包容力みたいなものがあるんじゃないでしょうか。ソフト面から見た場合はどうでしょうか。熊本県は非常に自然や文化が豊かでしょう。だから居心地が良すぎて何かしてやろうっていう積極性に乏しい部分があるのでは…。伝統を守るという事に関しては勝れているけれど、水平思考や発想の転換という面では、いささか不得意のように思われます。少し保守的な感じで、もっと奇抜なアイデアや飛躍した発想があってもいいんじゃないでしょうか。貿易に関しても、もっと柔軟な思考が欲しいですね。県外や海外に目を向けて情報を広く取り込み、国際人・業人などを指す「際人たれ」というのが、熊本人にも必要になってくると思います。今、熊本は国際化という点では、かなり力を入れているのですが…。

そうですね。すばらしいなと思ったのが、県民提案から出てきた「ホームステイ・カントリー熊本づくり」です。地道ではあるけれど、しっかりと底辺の広がりを感じられます。これはジェトロの中でも非常に高く評価されているんです。本当の国際交流というのは、こういったボランティアの中から生まれてくるものではないでしょうか。

国際交流だけでなく、熊本には良い点がたくさんあります。県が打ち出している魅力ある「田園文化圏の創造」というポリシーがあるでしょう。熊本は工業立県などよりも、豊かな自然を生かした地域づくりを進めることがいちばんですよね。こういった進むべき

指針を打ち出した早さ、的確さは、恐らく熊本が日本一だと思います。それに、文化面の取り組みという点ではすばらしいものがありますね。だから、熊本の方々に、もっとそのすばらしさに気づいてもらいたい。そう思っています。



「通水橋を見た時にですね。メキシコのケレタロ市の上水道を思い出しまして、懐しい感じでした。熊本にも同じような歴史があったのだなと…。」(飯島氏)

*「ジェトロ入会当時の直属の上司、故森山信吾氏(元第二電電社長)がよく口にされていた言葉で、私にとっては忘れがたい言葉でもあります。」(飯島氏)